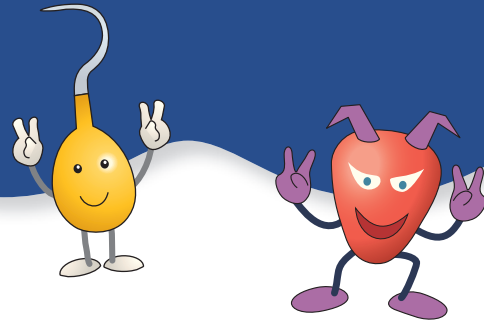


Dr.Hiroの ペリオ図鑑



もくじ



はじめに 3

第1章

組織の図鑑

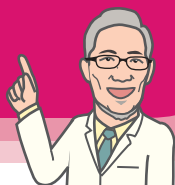


1-1	歯の発生学	12
1-2	上皮性付着	14
1-3	結合組織性付着	16
1-4	ヘミデスモソーム	18
1-5	セメント質	20
1-6	セメント・エナメル境	22
1-7	付着歯肉	24
1-8	歯肉上皮	26

1-9	コル	28
1-10	歯肉溝浸出液	30
1-11	歯肉結合組織	32
1-12	生物学的幅径	34
1-13	シャローサルカスと ディープサルカス	36
1-14	バイオタイプ(フェノタイプ)	38
1-15	根分岐部	40
1-16	根の近接	42
1-17	エナメル・プロジェクション	44
1-18	骨組織	46
1-19	骨のリモデリング	48

第2章

病因の図鑑



2-1	特異的プラーク仮説と 非特異的プラーク仮説	52
2-2	エコロジカル・プラーク仮説	54
2-3	細菌と炎症	56
2-4	歯周病菌の認定基準	58
2-5	グラム陽性菌とグラム陰性菌	60
2-6	好気性菌と嫌気性菌	62
2-7	球菌と桿菌	64
2-8	<i>Porphyromonas gingivalis</i> Pg菌	66
2-9	<i>Tannerella forsythia</i> Tf菌	68
2-10	<i>Treponema denticola</i> Td菌	70
2-11	<i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i> Aa菌	72
2-12	<i>Prevotella intermedia</i> Pi菌	74
2-13	<i>Fusobacterium nucleatum</i> Fn菌	76

2-14	<i>Campylobacter rectus</i> Cr菌	78
2-15	Socranskyのピラミッド	80
2-16	細菌バイオフィーム	82
2-17	クオラム・センシング	84
2-18	バイオフィーム感染症に 抗菌薬が効きにくいわけ	86
2-19	歯石	88
2-20	歯肉退縮	90
2-21	非炎症性歯肉退縮の助長因子	92
2-22	咬合性外傷	94

第3章

分類の図鑑



3-1	歯周炎の分類	98
3-2	細菌の分類	100
3-3	Maynardの分類	102

3-4	Millerの分類、Cairoの分類	104
3-5	根分岐部病変の分類 Hampらの分類、Tarnow and Fletcherの分類	106
3-6	エナメル・プロジェクション の分類 Masters and Hoskinsの分類	108
3-7	ルートランクの分類	110
3-8	歯の動揺度の分類 Millerの分類	112
3-9	メンテナンスの分類 Schallhornの分類	114
3-10	プローブの分類	116

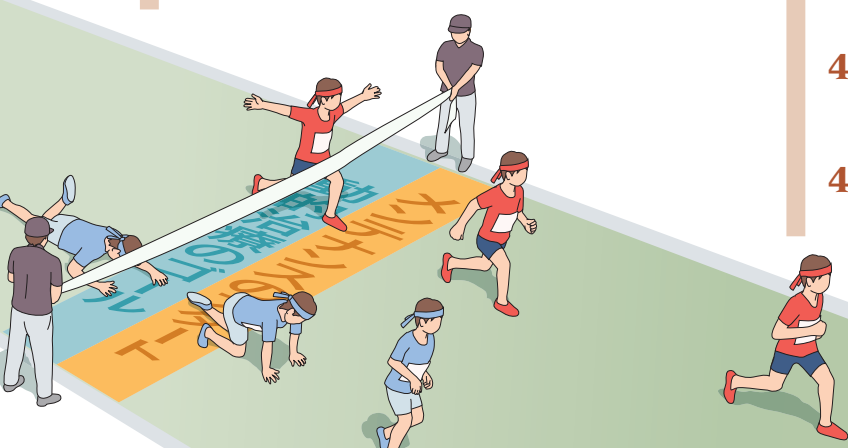
4-3	プローブの止まる位置	124
4-4	プロービングミス	126
4-5	プロービング時の出血	128
4-6	プロービング時の出血 (BOP)の意味	130
4-7	プロービング時の出血率 (BOP率)	132
4-8	プロービング時の出血(BOP) の偽陽性と偽陰性	134
4-9	根分岐部病変の検査	136
4-10	歯肉退縮量の検査	138
4-11	付着レベル	140
4-12	付着歯肉の検査	142
4-13	歯肉の厚みの検査	144
4-14	エックス線検査 垂直性骨欠損と水平性骨欠損	146
4-15	エックス線検査 ファークーション・アロー	148
4-16	エキスペローリング	150
4-17	歯の動揺度の検査	152

第4章

検査の図鑑



4-1	プローブとプロービング	120
4-2	プロービング法	122



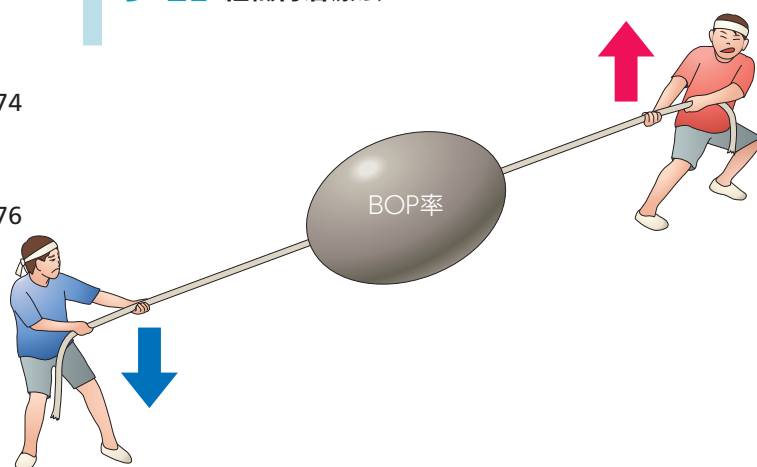
4-18	歯肉溝浸出液の検査	154
4-19	遺伝子の検査	156
4-20	顕微鏡	158

第5章 治療の図鑑



5-1	SRPの効果[基礎編]	162
5-2	SRPの効果[臨床編]	164
5-3	SRP後の治癒形態	166
5-4	SRPのゴール	168
5-5	SRP用器具	170
5-6	グレイシーキュレット	172
5-7	ユニバーサルキュレット	174
5-8	超音波スケーラー	176

5-9	エアポリッシャー	178
5-10	キュレットのシャープニング	180
5-11	シャープニング・ストーン	182
5-12	モース硬度と歯周治療	184
5-13	ブラッシング指導	186
5-14	歯ブラシ	188
5-15	歯磨剤	190
5-16	トゥースペースト・テクニック	192
5-17	再評価	194
5-18	歯周外科の種類	196
5-19	切除療法	198
5-20	再生療法	200
5-21	組織付着療法	202



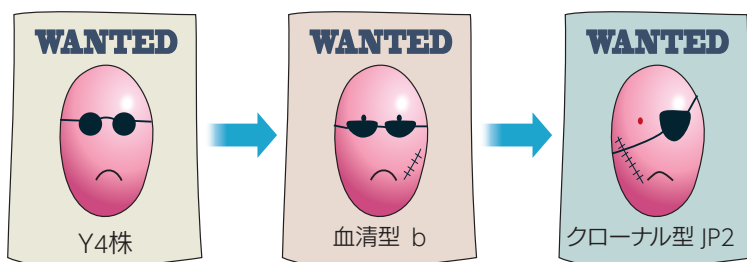
5-22	歯周形成外科	204
5-23	歯肉弁	206
5-24	切開	208
5-25	縫合	210
5-26	骨移植材	212
5-27	歯周組織再生材料	214
5-28	骨切除 / 骨整形	216
5-29	歯周動的治療とメンテナンス	218

第6章

薬の図鑑



6-1	表面活性剤としての発泡剤	222
6-2	陰イオン性表面活性剤と陽イオン性表面活性剤	224
6-3	洗口剤用抗菌剤	226
6-4	クロールヘキシジン	228
6-5	ポビドンヨード	230
6-6	ポケット内洗浄とLDDS	232
6-7	抗菌薬サークル図	234
6-8	ペニシリン	236



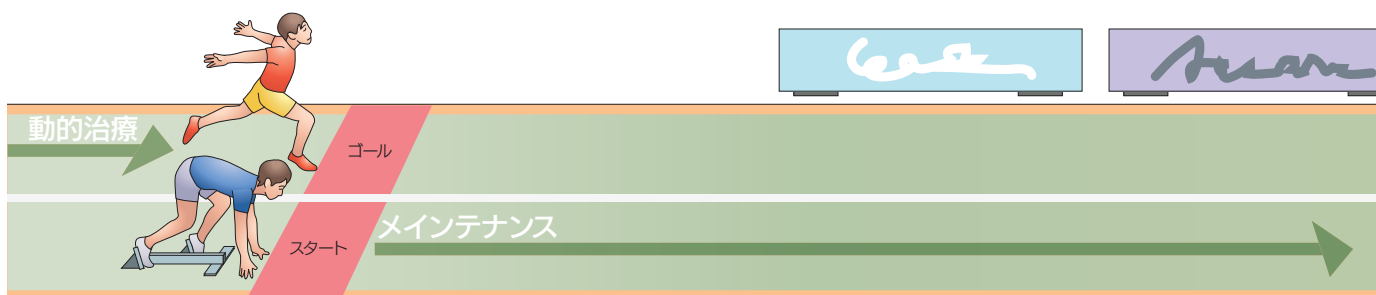


第7章

メンテナンス の図鑑

6-9	黄色ブドウ球菌との闘い	238
6-10	セファロスポリンと カルバペネム	240
6-11	キノロン	242
6-12	マクロライド	244
6-13	リンコマイシン	246
6-14	耐性菌	248
6-15	β ラクタマーゼ阻害薬	250
6-16	歯周病と抗菌薬	252
6-17	メトロニダゾール	254
6-18	テトラサイクリン	256
6-19	抗菌薬の新たな副作用	258
6-20	ビスホスホネート	260
6-21	BRONJ / DRONJ ARONJ / MRONJ	262

7-1	歯の喪失とメンテナンス	266
7-2	歯周外科とメンテナンス	268
7-3	メンテナンスへの移行基準	270
7-4	メンテナンス・プログラム	272
7-5	リスクアセスメント	274
7-6	メンテナンスと服薬	276
7-7	マイブームという落とし穴	278
7-8	リコール間隔	280
7-9	メンテナンスにおける 言葉の選択	282
7-10	引継ぎとファースト・コンタクト	284



第8章

その他の図鑑



8-1	歯周病における骨吸収	288
8-2	RANKL / RANK	290
8-3	閉経後の骨粗鬆症とデノスマブ	292
8-4	インテグリン	294
8-5	エピジェネティクス	296
8-6	糖尿病と歯周病	298
8-7	喫煙と歯周病	300
8-8	歯周病と口臭	302
8-9	根面う蝕	304

8-10	酸蝕症	306
8-11	歯ブラシの毛の硬さ	308
8-12	RDA	310
8-13	オッズ比とリスク比	312
8-14	感度と特異度	314
8-15	陽性的中率と陰性的中率	316
8-16	P値	318
8-17	95%信頼区間	320
8-18	ランダム化比較試験	322
8-19	システマティックレビューと メタアナリシス	324
8-20	EBMとNBM	326

索引	328
----	-----

